

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	環境選択型空調設計小委員会		主 査 名：野部達夫 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：羽山広文
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・環境選択型空調の国内外における研究事例、実施事例を整理し、定量的データの蓄積を行い、実建物への導入のための設計ガイドラインを作成する。また、2年毎にシンポジウムを開催する予定。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：野部達夫 (工学院大) 幹事：秋元孝之 (芝浦工大) 委員：横山計三 (日比谷総合設備)、村上宏次(清水建設)、大宮由紀夫 (竹中工務店)、大黒雅之 (大成建設)、近本智行 (立命館大)、佐々木真人 (日本設計)、三浦克弘 (鹿島建設)、小金井真 (山口大学)、田辺新一 (早稲田大学)、半澤久 (北海道工大)、小林弘造 (日建設計)、伊藤剛 (大林組)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 蓄積した国内外における研究事例、設計・実施事例の調査などにより、小委員会としての共通認識を醸成した。また、それをもとに用語の定義、論点の整理など、枠組に関する検討を行った。</li> <li>2. システムの設計方法等の検討、実験、実測、シミュレーションを実施した。</li> <li>3. 実建物への導入のための設計手法を確立する上で必要な検討事項を抽出した。</li> <li>4. 2011 年度にシンポジウムを開催した。</li> <li>5. 計画された 4 年間の活動を経て、予定した成果を得た。</li> </ol>
委員会活動の問題点・課題	

- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

## 2012 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4 段階評価)	A <b>B</b> C      D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>小委員会の設置期間を通じて、下記の成果を上げることができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>蓄積した国内外における研究事例、設計・実施事例の調査などにより、小委員会としての共通認識を醸成した。また、それをもとに用語の定義、論点の整理など、枠組に関する検討を行った。</li> <li>システムの設計方法等の検討、実験、実測、シミュレーションを実施した。</li> <li>実建物への導入のための設計手法を確立する上で必要な検討事項を抽出した。</li> <li>2011 年度にシンポジウムを開催した。</li> <li>計画された 4 年間の活動を経て、予定した成果を得た。</li> </ol> <p>特に 2011 年度に開催した「環境設備デザインの再興と S A I K O (最古・再考・Psycho、最高) — 温熱環境を選択させる意義とその可能性 —」シンポジウムでは、多くの参加者を得て、様々な S A I K O のキーワードから今後の環境設備デザインについて問題提起をすることによって「与えられた環境から選択した環境へのパラダイムシフト」に関する活発な議論を行うことができた。今後、本小委員会で得られた成果を、次年度新規設置予定の委員会等において展開することを期待したい。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。